



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月8日
東

上場会社名 株式会社IBJ 上場取引所
コード番号 6071 URL <https://www.ibjapan.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石坂 茂
問合せ先責任者(役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 石田 明 (TEL) 080 (7027) 0983
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	13,091	△3.4	1,989	14.3	1,979	9.4	1,316	△4.4
2023年12月期第3四半期	13,555	22.6	1,741	10.9	1,809	11.3	1,377	17.8

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 1,386百万円(66.4%) 2023年12月期第3四半期 833百万円(△35.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	34.67	—
2023年12月期第3四半期	34.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第3四半期	17,629	8,518	45.0	209.96
2023年12月期	18,120	8,023	41.1	192.02

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 7,934百万円 2023年12月期 7,447百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
配当予想の修正については、本日発表の「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,200	3.1	2,323	4.2	2,303	0.5	1,529	△6.2	42.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期3Q	42,000,000株	2023年12月期	42,000,000株
2024年12月期3Q	4,211,306株	2023年12月期	3,217,506株
2024年12月期3Q	37,985,244株	2023年12月期3Q	40,257,201株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、この四半期決算短信(添付資料)P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法)

当社は2024年11月11日(月)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。なお、決算補足説明資料については、本日当社ホームページに掲載致します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本国内の経済環境は、金融市場に不安定な動きがみられるものの、景気の先行きは内需主導で緩やかな回復が予想され、個人消費が5四半期ぶりに増加するなど、景気の踊り場を抜けて持ち直しの動きがみられました。

一方、少子化の進行に伴う労働力不足や経済成長の停滞懸念は解消されておらず、近年では更に国内全体の婚姻件数についても一段と減少が進みつつある状況です。婚活市場については、コロナ禍で急成長した婚活マッチングアプリ市場において、利用者増加に伴うマッチングの難しさや詐欺被害などの課題も浮上しております。これを受けて結婚相談所においては、各種証明書により婚活の真剣度と信頼性を確保する取り組みや、人的なサポートを求める方への結婚の支援、少子化対策・地方創生を目的とした官民連携による取り組みが一層進んでおります。

このような状況のもと、国内外の経済活動の影響を少なからず受けておりますが、当社グループにおきましても更なる事業規模拡大を目的とした知名度向上や、国策の一助となるべく様々な施策を講じ、中期経営計画(2021年1月～2027年12月)である「成婚組数2万組」「加盟相談所数7千社」「お見合い会員数17.3万人」「マッチング会員数25万人」の達成に向けて、引き続き業容の拡大に努めました。

結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,091,904千円(前年同期比3.4%減)、営業利益は1,989,331千円(同14.3%増)、経常利益は1,979,676千円(同9.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,316,868千円(同4.4%減)となりました。

当社独自のビジネスモデル

「直営店+加盟店」による日本最大の婚活プラットフォーム運営 さらに周辺事業も成長する独自のビジネスモデル



「マッチング事業」は「結婚相談所事業」のゲートウェイサービス、
「ライフデザイン事業」は増えていく成婚数を主にターゲットにしたサービス

Copyright © IBJ, Inc. All rights reserved.

※成婚組数は2023年1月から12月の累計、お見合い会員数・結婚相談所数は2024年9月末時点

各セグメントの売上高及び事業利益は以下のとおりであります。

なお、事業利益は、営業利益+減価償却費+のれん償却費+長期前払費用償却費としております(内部取引調整済み)。

(加盟店事業)

加盟店事業は、第1四半期からの継続施策により順調に推移、加盟店数の増加とオーネットの提携効果によって、結婚相談所の新規入会者は前年同期比で33.1%増を達成しました。

新規開業件数については、新規広告媒体・新規の営業ルートの開拓を継続していることで、当第3四半期連結会計期間において248件と堅実な成長を維持しており、加盟店件数は9月末時点で4,428社(前年同期比9.3%増)と、順調に推移しております。

これらの理由により、セグメント売上高は2,472,892千円(前年同期比10.0%増)、事業利益は1,668,174千円(同23.8%増)となりました。

(直営店事業)

直営店事業は、当第3四半期連結累計期間において、IBJメンバーズにおいては平均入会金単価が向上、パーティーからの入会施策と並行してWEB媒体からの入会にも注力し、入会数は前年同期比10.3%増となりました。また、ZWEIではマーケティング施策が奏功、サンマリエではマッチング事業との連携強化によるパーティーからの入会が好調であることから、直営店事業全体の入会数は前年同期比16.9%増の伸長となっております。

これらの理由により、セグメント売上高は6,699,888千円（前年同期比6.8%増）、事業利益は1,483,050千円（同7.7%増）となりました。

(マッチング事業)

パーティー事業は、キャンペーンと新たな広告媒体（サイト掲載）によって参加者と開催本数が増加、広告効率が大幅に良化しました。

アプリ事業は、売上高、事業利益については堅調に業績を維持、引き続き有料会員の増加を目指し、サービスのブラッシュアップ施策を講じております。

これらの理由により、セグメント売上高は1,228,455千円（前年同期比11.5%減）、事業利益は183,038千円（同16.8%減）となりました。

(ライフデザイン事業)

ライフデザイン事業は、当第3四半期連結累計期間において、結婚相談所事業の成婚組数増加に伴い、サービス利用者が順調に増加、指輪の成約件数、保険の面談件数等、各KPIが好調に推移、安定的に収益を確保することができております。

また、趣味・コミュニティ事業においては、韓国語教室やボイトレスクールを運営する株式会社K Villageの語学コミュニティ事業の生徒数が引き続き増加、音楽コミュニティ事業ではFCの開業数が好調に伸長し、校舎数についても前年同期比で163.6%増加しました。

この結果、セグメント売上高は2,690,668千円（前年同期比26.2%減）、事業利益は472,808千円（同0.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は7,310,787千円となり、前連結会計年度末に比べ780,337千円減少しました。これは主に、営業投資有価証券が1,250,749千円増加した一方、現金及び預金が1,045,245千円、預け金が905,078千円減少したためです。固定資産は10,318,769千円となり、前連結会計年度末に比べ289,575千円増加しました。これは主に、車両運搬具が13,731千円、投資有価証券が384,064千円増加した一方、繰延税金資産が61,507千円減少したためです。

この結果、総資産は17,629,556千円となり、前連結会計年度末に比べ490,761千円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,709,842千円となり、前連結会計年度末に比べ2,477,964千円減少しました。これは主に、買掛金が191,873千円、短期借入金が2,056,817千円、未払金が243,575千円減少したためです。固定負債は4,401,530千円となり、前連結会計年度末に比べ1,492,892千円増加しました。これは主に長期借入金が1,442,776千円、資産除去債務が51,500千円増加したためです。

この結果、負債合計は9,111,372千円となり、前連結会計年度末に比べ985,072千円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は8,518,183千円となり、前連結会計年度末に比べ494,310千円増加しました。これは主に、利益剰余金が1,084,173千円、自己株式が593,032千円増加したためです。

この結果、自己資本比率は45.0%（前連結会計年度末は41.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年2月9日の「2023年12月期決算短信」で公表しました2024年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,789,025	2,743,779
売掛金	1,627,407	1,597,636
営業投資有価証券	939,562	2,190,312
商品及び製品	10,610	14,115
原材料及び貯蔵品	3,105	3,203
前渡金	2,664	109
前払費用	354,718	363,841
1年内回収予定の長期貸付金	1,999	1,999
預け金	1,026,918	121,839
その他	349,043	293,700
貸倒引当金	△13,931	△19,751
流動資産合計	8,091,124	7,310,787
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,292,612	2,455,942
減価償却累計額	△931,064	△1,086,494
建物（純額）	1,361,547	1,369,448
車両運搬具	10,880	24,612
減価償却累計額	△7,133	△6,774
車両運搬具（純額）	3,746	17,838
工具、器具及び備品	592,398	612,176
減価償却累計額	△509,522	△541,494
工具、器具及び備品（純額）	82,876	70,681
土地	1,538,479	1,538,479
リース資産	37,494	43,229
減価償却累計額	△23,718	△29,103
リース資産（純額）	13,775	14,126
有形固定資産合計	3,000,425	3,010,574
無形固定資産		
のれん	1,527,097	1,403,020
ソフトウェア	1,070,148	1,059,858
ソフトウェア仮勘定	10,201	29,355
その他	-	21,699
無形固定資産合計	2,607,446	2,513,933
投資その他の資産		
投資有価証券	1,961,057	2,345,121
長期前払費用	220,459	164,342
長期貸付金	2,833	1,333
繰延税金資産	708,791	647,284
保険積立金	266,015	274,016
差入保証金	1,256,874	1,355,471
その他	5,290	6,690
投資その他の資産合計	4,421,320	4,794,260
固定資産合計	10,029,193	10,318,769
資産合計	18,120,318	17,629,556

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	487,216	295,343
短期借入金	3,216,817	1,160,000
1年内返済予定の長期借入金	280,684	475,968
未払金	859,885	616,310
未払費用	707,960	431,854
未払法人税等	594,328	245,841
未払消費税等	140,125	241,560
前受金	583,167	657,907
リース債務	6,675	6,834
その他	310,946	578,223
流動負債合計	7,187,807	4,709,842
固定負債		
長期借入金	2,220,592	3,663,368
リース債務	6,947	6,781
資産除去債務	671,070	722,571
その他	10,028	8,809
固定負債合計	2,908,637	4,401,530
負債合計	10,096,445	9,111,372
純資産の部		
株主資本		
資本金	699,585	699,585
資本剰余金	929,640	929,640
利益剰余金	7,981,454	9,065,628
自己株式	△1,843,347	△2,436,380
株主資本合計	7,767,333	8,258,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△320,172	△324,471
その他の包括利益累計額合計	△320,172	△324,471
新株予約権	100,693	33,898
非支配株主持分	476,019	550,282
純資産合計	8,023,873	8,518,183
負債純資産合計	18,120,318	17,629,556

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	13,555,706	13,091,904
売上原価	2,254,584	909,023
売上総利益	11,301,121	12,182,880
販売費及び一般管理費	9,560,083	10,193,549
営業利益	1,741,037	1,989,331
営業外収益		
受取利息	139	327
受取配当金	16,811	-
為替差益	4,737	-
補助金収入	15,672	882
保険解約返戻金	16,000	-
営業補償金	22,000	-
その他	6,363	6,370
営業外収益合計	81,723	7,580
営業外費用		
支払利息	8,644	15,074
支払手数料	-	1,779
その他	4,992	381
営業外費用合計	13,636	17,234
経常利益	1,809,124	1,979,676
特別利益		
固定資産売却益	2,286	1,591
投資有価証券売却益	379,773	-
新株予約権戻入益	-	82,210
その他	18,100	-
特別利益合計	400,160	83,801
特別損失		
固定資産除却損	21,904	0
投資有価証券売却損	-	23,548
店舗閉鎖損失	918	-
特別調査費用等	14,044	-
特別損失合計	36,868	23,548
税金等調整前四半期純利益	2,172,417	2,039,930
法人税、住民税及び事業税	680,468	585,541
法人税等調整額	57,087	63,256
法人税等合計	737,555	648,798
四半期純利益	1,434,861	1,391,131
非支配株主に帰属する四半期純利益	57,522	74,262
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,377,338	1,316,868

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	1,434,861	1,391,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△601,373	△4,298
その他の包括利益合計	△601,373	△4,298
四半期包括利益	833,487	1,386,832
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	775,964	1,312,570
非支配株主に係る四半期包括利益	57,522	74,262

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年2月9日開催の取締役会決議に基づき、中間連結会計期間において自己株式992,800株の取得を行いました。この結果、自己株式が593,032千円増加し、当第3四半期連結累計期間末において自己株式が2,436,380千円となっております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	285,390千円	428,866千円
のれん償却額	195,404	124,076

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加盟店事業	直営店事業	マッチング 事業	ライフデザイン 事業	計		
売上高							
一時点で移転されるサービス	1,401,070	2,046,482	854,420	998,841	5,300,814	—	5,300,814
一定の期間にわたり移転されるサービス	846,027	4,229,502	533,226	1,076,884	6,685,640	—	6,685,640
顧客との契約から生じる収益	2,247,097	6,275,985	1,387,646	2,075,725	11,986,455	—	11,986,455
その他の収益	—	—	—	1,569,250	1,569,250	—	1,569,250
外部顧客への売上高	2,247,097	6,275,985	1,387,646	3,644,976	13,555,706	—	13,555,706
セグメント間の内部売上高又は振替高	91,355	27,482	27,734	—	146,572	△146,572	—
計	2,338,453	6,303,467	1,415,381	3,644,976	13,702,278	△146,572	13,555,706
セグメント利益	1,322,830	1,085,418	157,421	404,549	2,970,220	△1,229,182	1,741,037

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,229,182千円には、セグメント間取引消去611千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,229,794千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他の収益」は、「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号2019年7月4日）に基づく金融商品に係る取引及び「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号2007年3月30日）に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加盟店事業	直営店事業	マッチング 事業	ライフデザイン 事業	計		
売上高							
一時点で移転されるサービス	1,492,336	2,287,333	707,131	1,036,572	5,523,373	—	5,523,373
一定の期間にわたり移転されるサービス	980,555	4,412,555	521,323	1,508,225	7,422,659	—	7,422,659
顧客との契約から生じる収益	2,472,892	6,699,888	1,228,455	2,544,797	12,946,033	—	12,946,033
その他の収益	—	—	—	145,871	145,871	—	145,871
外部顧客への売上高	2,472,892	6,699,888	1,228,455	2,690,668	13,091,904	—	13,091,904
セグメント間の内部売上高又は振替高	109,969	38,614	66,641	338	215,564	△215,564	—
計	2,582,862	6,738,502	1,295,096	2,691,006	13,307,468	△215,564	13,091,904
セグメント利益	1,632,186	1,247,090	118,448	368,460	3,366,185	△1,376,853	1,989,331

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他の収益」は、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)に基づく金融商品に係る取引及び「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。